

大阪府薬剤師会での講演

日 時：2021年12月25日（土）14:00～15:40

場 所：大阪府薬剤師会館 本館3階大ホール

開催形式：ウェビナーによるWEB研修

テ ー マ：「後発医薬品供給体制の現状と安定供給に向けた取組みについて 後発医薬品製造販売業者の立場から」

講 師：田中 俊幸（日本ジェネリック製薬協会 政策委員会政策実務委員長）

概 要：薬剤師の先生の皆様に対して当協会の取組みについて説明。

（質問の内容）

- いつ改善する見込みがあるのか？ 医療現場では一刻も早い安定供給が望まれています。積極的な打開策は講じられているのでしょうか？
- 厚生労働省によるジェネリックメーカー等への立入検査について伺いたい。先発メーカーの出荷停止が少ないのは厚生労働省による立入検査が実施されていないからなのか？それとも検査をしてもしっかりと品質管理されていたからなのか、知りたい。
- 現在の薬価設定では、ジェネリック医薬品の品質は保てるのか？ 医薬品を安定供給出来ないのであれば、薬価収載すべきでないとの意見もあるがどうか？
- 日本ジェネリック製薬協会としては、医療機関、薬局、さらに患者さんへの周知について、どのように取り組まれているか？
- メーカーや医薬品卸から予告なく「入荷できません」との電話連絡だけで、後は薬局任せなのは非常に困る。また従来納入していたジェネリック医薬品が入手できなくなり、切り替えを検討した医薬品について、卸に納品実績が無い事を理由に納品出来ないと言われ困っています。メーカーとしてはどうなのか？